

科目名	生活と政治Ⅱ	科目分類	<input type="checkbox"/> 専門科目群 (第1グループ)
			<input checked="" type="checkbox"/> 総合科目群 (第2グループ)
			全学科 <input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択
			学科 <input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択
英文表記	Politics II	開講年次	<input checked="" type="checkbox"/> 1年 <input checked="" type="checkbox"/> 2年 <input checked="" type="checkbox"/> 3年 <input checked="" type="checkbox"/> 4年
ふりがな	なかむら いつはる	開講期間	<input type="checkbox"/> 前期 <input checked="" type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/> 通年 <input type="checkbox"/> 集中
担当者名	中村 逸春	修得単位	2単位
授業のテーマ	政治学の様々な概念について歴史を通して学び、理解を深める。		
到達目標	政治学の様々な概念について、古代から近代までの政治思想家の見解と関連づけて理解できるようになること。また、政治思想の歴史的展開について説明できるようになること。		
授業概要	この講義の目的は、過去の政治思想家のテキストを参照することを通じて、政治学の諸概念（民主政、共和政、権力など）についての理解を深めることである。また、本講義では、思想家が生きた時代の社会的・政治的生活にも注目する。		
授業計画			
第1回	イントロダクション		
第2回	民主政①—古代ギリシャの政治と歴史		
第3回	民主政②—プラトンの哲学と民主政批判		
第4回	民主政③—アリストテレスの国政類型論		
第5回	共和政—古代ローマの政治とストア派		
第6回	国家と教会①—カトリック教会と叙任権闘争		
第7回	国家と教会②—中世盛期のスコラ哲学とトマス・アキナス		
第8回	講義の復習と質疑応答		
第9回	政治と権力—ルネサンスとマキアヴェッリ		
第10回	国家と教会③—ルターの二王国論		
第11回	国家と教会④—カルヴァンと神権政治		
第12回	抵抗権、寛容、主権—宗教内乱とボダン		
第13回	結社と共同体—英米のピューリタニズム		
第14回	近代の民主政		
第15回	講義の総括		
第16回	定期試験		
授業時間外の学習	毎回小テストを行うので、次回の講義までにノート、レジュメ、資料を読み返し、復習しておくこと。(2.0時間程度) 政治に関する新聞等の記事に日々目を通すようにすること。(2.0時間程度)		
履修条件 受講のルール	高校で世界史または倫理の授業を受けていれば理解しやすいと思われるが、必須の条件ではない。 講義中の私語は禁じる(退出を求める場合がある)。		
テキスト	教科書は、特に指定しない。		
参考文献・資料	宇野重規『西洋政治思想史』(有斐閣、2013年)、川出良枝・谷口将紀編『政治学』(東京大学出版会、2012年)。その他の参考文献については、その都度紹介する。		

成績評価の方法	小テスト (30%) とレポート (30%) と最終試験 (40%) とによって、授業内容の理解度をみて評価する。 ※なお、出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができない。
オフィスアワー	毎週木曜日・金曜日 13:30～15:00 (これ以外の時間帯に面会を求める場合は、メール等で事前に必ず連絡すること)
成績評価基準	平成28年度 (2016) 以降入学した学生 秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下) 平成27年度 (2015) 以前に入学した学生 優(100～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
学生へのメッセージ	歴史を学ぶことで、政治についてより深く理解することが可能となります。